



令和4年度 神奈川県農福連携マッチング等支援事業

農福連携フォーラム

～農福連携への期待と課題～

2023. 1. 28 (土)

14:00～16:30

● 本日の流れ

□ 開会挨拶・主旨説明

□ 基調講演 東海大学教授 濱田健司氏

農福連携の意義とこれから

□ 事例紹介

農業者・福祉事業者・農福連携コーディネーター

□ 意見交換

□ 閉会挨拶

※ 閉会後にマッチングの場づくり

□事例紹介

①「湘南小巻ファーム」と「みんなの家ミミ」の農福連携

【特徴】

- ・年間を通して継続的に施設外就労の形で行われている例
- ・クレソンの出荷調整作業で出荷量が増加
- ・ポットへの種まき等の作業も任せられる



□事例紹介

②「岩田農園」と「キルクももはま」の農福連携

【特徴】

- ・複数の農作物(空心菜、長ネギ、ブロッコリー等)の収穫期に応じて行われている例。
- ・収穫物を福祉施設の作業所に運び、作業所で袋詰め等の作業をする施設内就労?の形をとる。



□事例紹介

③「草川農家」と「キルクももはま」の農福連携

【特徴】

- ・高齢農家のサツマイモの収穫期に行われている例。
- ・収穫物を福祉施設の作業所に運び、作業所で袋詰め等の作業をし、農協の集荷場まで運搬も担っている。



□事例紹介

④「関谷農園」と「スタジオ・クーカ」の農福連携

【特徴】

- ・農家の畑を活用して、福祉施設の利用者が野菜栽培や草むしり等の作業を行っている例
- ・農業者の土地活用や福祉施設利用者の生きがい等「農の福祉力」に注目した形



□事例紹介

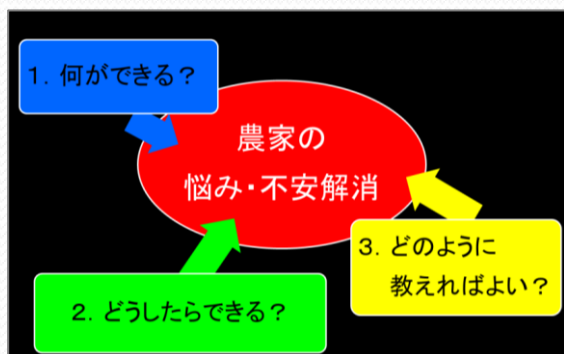
⑤農福連携コーディネーターとしての関わり

農福連携コーディネーターの役割

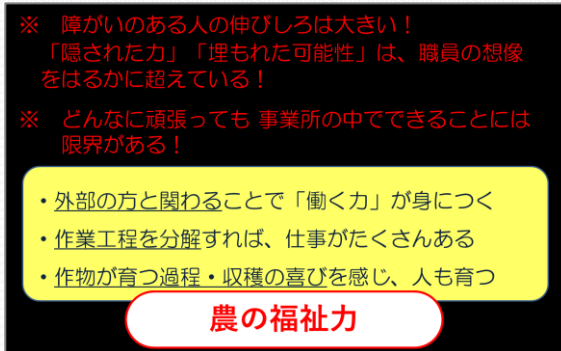
「農業及び福祉に関する知識を活かし、農業者と障がい福祉サービス事業所・社会福祉法人・障がい者を雇用する企業とをつなぎ、障がい者の就労機会や農業の担い手の確保のための仲介・調整を行う」

※2021/6/26 コーディネーター養成講座にて
島根県農業技術センター 技術普及部 宮廻克己様の資料抜粋

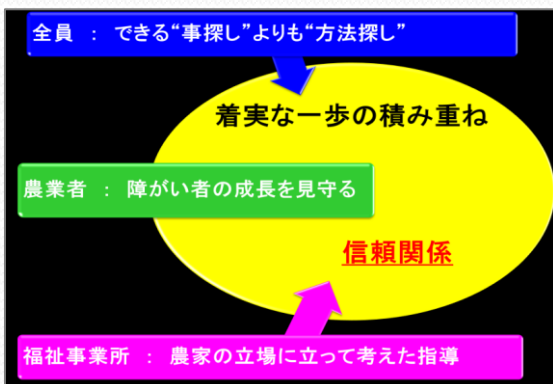
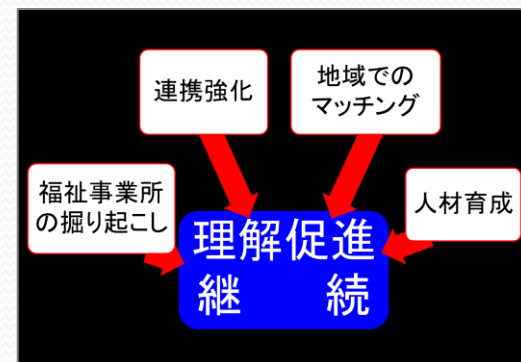
(1) 農業者への対応



(2) 障がい者支援施設への対応



(3) 残された課題



8.

① 障がいのある人達のチャレンジの場を！

② 職員にも学びの場・チャレンジの場を！



□意見交換

-

-

-

-